

「人生の本舞台は、つねに将来にあり」尾崎 行雄
(骨太の将来を設計するのが政治の本務だ)

都内62市区町村の皆さんの
「明るい未来」への希望を

たった1人からの挑戦です。

職歴:20歳で郵便局員、都立高校及び小・中学校
事務職員(国家公務員、都職員)として30年働く。

東京選挙区から地域代表として多摩地区の財政格差の
抜本的な解消を党利党略とは一線を画して中長期的な
視点から参院各会派と合意形成をはかり実現します。

◎生活支援:国独自の10万円給付を

まずはインフレの現在、伸びなやむ収入(とくに年金)への補てん
(穴うめ)が物価の高い都民の皆さんには必要です。

つぎにベースアップでなく
逆に報酬カットされている
医療・介護・福祉の専門職や
非正規雇用、業務請負

○最低賃金:「月給」区分の復活を

(フリーランス)の生活費
について民間給与水準から
大幅に低い現状に歯止めをかけ
ます。←経歴です。

▲介護保険:「広域行政化」で負担軽減

なかよし保育園、

保険を利用できない地域があります。国立1小、国立2中、都立府中東高、中大法(通信)卒。



高橋 健司 54歳
たかはし けんじ
無所属